

(1) 昭和46年8月15日

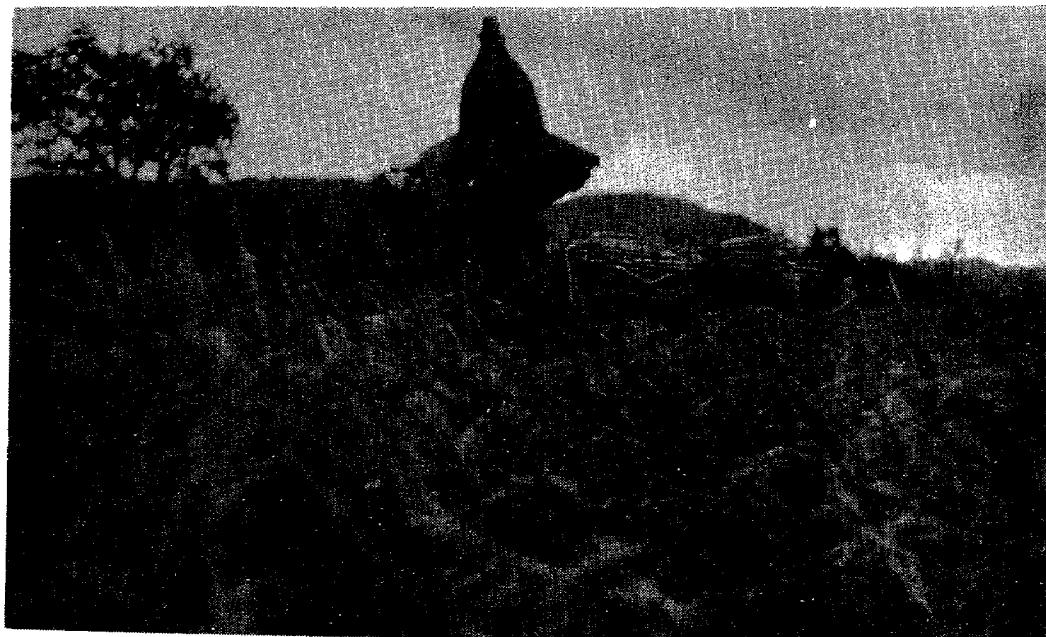
# 広報しろいし

(第三種郵便物認可)

第145号

# 広報 しろいし

編集と発行  
所  
役議審市石画企白  
市小路35  
TEL(代)5-2111  
発行定日 毎月15日  
(売価1部2円)



立秋

八日は立秋でした、立秋とはいっても、実際にはまだかなり暑い日が続きますが、この日を境に夏も峰を越し、雲の色や風の音に秋の気配をどことなく感じられるのもすぎです。

とはいっても日中の暑さはまだ身にこたえます、むし暑い夜、扇風機の活躍が頼もしく、やすむとき、ちょっとと思つてかけっぱなしにして、夜中に気がついて止めても、翌日、からだがだるく、少し頭痛のすることがあります。これを寝冷えによるカゼです。

わるくこじらせるところのカゼは秋ぐらまで持ちこすようなはめになります。

寝しなに使う扇風機には必ずタイムスイッチを用意して一時間以内にセットしておき、直撃風が肌にふれないように、部屋の空気を動かすような形にかけるのがいいようです。

こんなに暑ければカゼをひく心配はない、案外、夏カゼをひいて、せっかく取った休暇を床の中過ごす人もいるようですが、十分注意をしましょう。

白石紙布が

二三七号

文化財保護  
委員会から  
選択

白石紙布

選状書

片倉信光殿

明治四十五年三月二十一日

文化財保護法第二条第一項の規定により記

録作成等の措置を講じ、無形文化財として

昭和三十九年三月十九日文化財保護委員会より

選択されたことを証します

昭和四十六年三月三十日

文化財監査官 今出海

このたび、白石の工芸品として全国に知られおり、「白石紙布(しろいし、しぶ)」が無形文化財として文化財保護委員会から選択されました。



## 無縁仏をなくそう

### 家出人ゆくえ不明者の相談も

警察では、お盆シーズンに合せて、ことしも八月一日から末日まで「身元不明死体の身元確認強調月間」を実施します。

これは、無縁仏になつている人の身元を確かめてそれをの家族や身寄りのもとにおかれしする運動です。

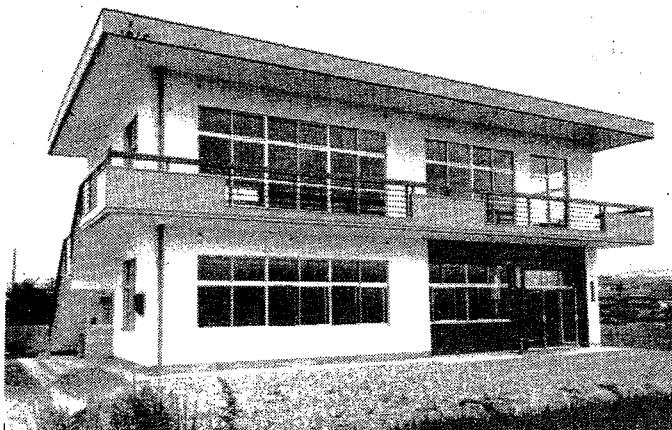
無縁仏は意外に多いいろいろな事情で家出して、自殺した人、犯罪の被害者となつている人、また旅行や出かせぎ先で死んだ人など、身元がわからなければ、全国にも手配して捜すように努めています。

しかし無縁仏になつてゐる人については、どうしても家族や知り合いの方に確かめていただきないと身元を明らかにすることができません。それでお盆を中心とした八月一ぱいを月間として毎年この運動をおこなつていいものです。

**越河保育園**

鉄筋コンクリート造り平家建  
総事業費 14,066千円  
県補助金 750千円  
起債 (国民年金特別融資)  
一般財源 5,316千円

295.796m<sup>2</sup>  
国庫補助金 1,500千円  
6,500千円

**高令者の無料職業相談**

毎月第1週の水曜日 9月は 1日

10月は 6日 11月は 2日 12月は 1日

場所 白石市福祉事務所相談室、お気軽に相談し適職をさがしてみませんか。

派出所、駐在所にて相談ください。  
(白石警察署)

昭和46年度 該当者は初回者、昭和54年6月1日から昭和45年5月31日までの出生者

月31日までの出生者 追加者、昭和44年6月1日から昭和45年5月31日までの出生者

年6月1日から昭和46年5月31日までの出生者

の出生者

日から昭和45年5月31日までの出生者

月31日までの出生者

の出生者

の出生者